

| | | | | | |
|-------|---------------|----|---|------|--|
| 科目 | 現代の国語 | 単位 | 2 | 学年 | 1 |
| 使用教科書 | 「現代の国語」(数研出版) | | | 副教材等 | ・「意味から学ぶ 頻出漢字 3000」(第一学習社) ・「プレミアムカラー 国語便覧」(数研出版) |

| | |
|---------|--|
| 学習の到達目標 | <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|---------|--|

| 評価の観点 | | |
|--------------------------|--|---|
| a. 知識・技能 | b. 思考・判断・表現 | c. 主体的に学習に取り組む態度 |
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 | 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 |

| 期 | 学習項目 | 学習内容及び評価の観点 |
|-------------|-------------------------|--|
| 一 学 期 | 水の東西 (山崎正和) | <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 |
| | 『『わらしべ長者』の経済学』(梶井厚志) | <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとしている。 |
| | 「ポスト・プライバシー」(阪本俊生) | <ul style="list-style-type: none"> ・推論の仕方を理解し使っている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の考えを参考にしながら実社会の状況や問題点を粘り強く考察し、学習課題に沿って説明しようとしている。 |
| | 賛否を述べる「命は誰のものなのか」(柳澤桂子) | <ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している ・「書くこと」において、意図に応じて書かれているかを確認して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 ・筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて論理を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。 |
| | 実用の文章1/目的に合わせて表現を工夫する | <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解し、使っている。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・実用的な文章の身近な事例を積極的に調べ、学習課題に沿って適切な形式の文章を用いてまとめようとしている。 |
| 二 学 期 | 「ものごとば」(鈴木孝夫) | <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。 |
| | 「動物園というメディア」(山本茂行) | <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な事例を考え、学習課題に沿って発表しようとしている。 |
| | 「自然との連帯」(内山節) | <ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 ・二つの論理的文章を積極的に比較考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 |

| 期 | 学習項目 | 学習内容及び評価の観点 |
|-----|---------------------------|--|
| | 「科学コミュニケーション」(岸田一隆) | <ul style="list-style-type: none"> ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の表現を積極的に読み解いて、その主張を理解したうえで、学習課題に沿って自分の意見を具体的に述べようとしている。 |
| | 「時を編む人間」(田口茂) | <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の考えを粘り強く読み解き、学習課題に沿ってまとめようとしている。 |
| | 具体例を示す「動的平衡の回復」(福岡伸一) | <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にまとめている。 ・筆者の意見に基づいて実社会における事象を積極的に考察し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 |
| | 実用の文章3/課題を発見し解決策を発表する | <ul style="list-style-type: none"> ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・課題資料が示す内容と身の回りの問題を積極的に関連付け、学習課題に沿って適切な解決策を考えようとしている。 |
| 三学期 | 「浪費を妨げる社会」(國分功一郎) | <ul style="list-style-type: none"> ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者が論じる問題を積極的に自分に引きつけて考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 |
| | 「白」(原研哉) | <ul style="list-style-type: none"> ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の主張を理解したうえで自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 |
| | 関連づける/「絵を前に思いをめぐらす」(榎木野衣) | <ul style="list-style-type: none"> ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 ・異なる文章と積極的に読み比べることで、それぞれの筆者の意見を理解し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 |
| | 実用の文章4/コミュニケーションの手段を考える | <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を整理して、伝え合う内容を検討している。 ・文章と図が示す内容をあわせて理解し、具体的事例を用いて積極的に考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 |